



2025 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 恵 和 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 村 恵 式
(コード番号：4251 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 管 理 本 部 本 部 長
兼 財 務 部 長 吉 岡 佑 樹
TEL. 03-5643-3783

特別損失（事業撤退損失）の計上に関するお知らせ

当社は、本日公表の 2025 年 12 月期第 2 四半期連結会計期間（2025 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）の連結決算において、下記の通り事業撤退損失を計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業撤退損失の発生および内容

本日公表の「地球の絆創膏事業からの撤退及び淡路ベースの廃止のお知らせ」の通り、建築・土木構造物の保護・延命シートの開発・製造・販売を行っていた地球の絆創膏事業は、2024 年 11 月 14 日に工業製品として販売するフェーズから研究開発フェーズに引き戻すことを決定し、製品品質の検証・製品改良及び研究開発に努めて参りました。しかし、屋根用保護シート「KYÖZIN Re-Roof®」の製品品質の検証・製品改良の結果及び進捗、また、並行して進めていた施工済み案件の点検作業の状況を総合的に判断した結果、「KYÖZIN Re-Roof®」は、当社が想定していた耐久年数を担保できないと判断するに至りました。これに加えて、当社の主力事業と異なるマーケットへの進出の是非を再考した結果、現在開発中の土木用途の製品も含めて、当該事業から撤退すること、及び地球の絆創膏事業の開発拠点である淡路ベースを廃止することを決定いたしました。

その結果、既に販売を行った製品に対する将来の保証債務について、政策的判断に基づく合理的な見積りを行った結果、当第 2 四半期連結会計期間において、製品保証引当金繰入額として 792,041 千円を計上いたしました。また、事業の撤退により他への転用が困難となった「KYÖZIN Re-Roof®」の研究設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、帳簿価格との差額を減損損失として 5,527 千円計上し、淡路ベースの廃止を受けて、当該拠点設立時に兵庫県より受領した助成金の返金額として、34,604 千円を計上いたしました。

以上により、当第 2 四半期連結会計期間において、事業撤退損失 832,173 千円を計上いたしております。

事業撤退損失の内訳は、下記の通りです。

内容	金額（千円）
(1) 製品保証引当金繰入額	792,041
(2) 減損損失	5,527
(3) 助成金返金額	34,604
合計	832,173

2. 今後の見通し

上記の特別損失（事業撤退損失）については、本日公表の「2025 年 12 月期第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上